

私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2019年10月30日 No490  
原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25  
TEL086-244-4526 (F) 805-6172  
kenmin@po5.oninet.ne.jp

# 日本政府は核兵器禁止条約を批准せよ

国連軍縮週間・パレードで市民にアピール



今年の国連軍縮週間（10月24日～）のとりくみとして岡山県原水協は10月29日「核兵器なくそう！おりづるパレード」を行いました。お昼休みの岡山シンフォニー前の出発集会では県原水協中尾代表理事が「2017年の核兵器禁止条約の採択以来33カ国が批准、発効までさらに署名で追い詰めよう」とあいさつ。県被爆者会廣信靖之会長は「2020年NPTを目指し被爆者署名を積み上げたい」と連帯のあいさつ。岡山被爆2・3世の会栢管さんは「被爆した父の遺言は『戦争は絶対にダメ』でした。核兵器廃絶に向け頑張りたい」と訴えられました。

2020年原水爆禁止世界大会 inNY、NPT再検討会議国際要請行動に参加を予定されている岡山医療生協の向谷千鳥さんは、「医療生協の組合員としてNY行動に参加します。禁止条約批准に背を向ける日本政府を変えるために一層がんばりたい」と決意を述べられました。

このあと40人の参加者は「核兵器はいらない」「日本政府は条約を批准せよ」と書かれた黄色い風船・プラスタを手に岡山駅前までパレードし、市民にアピールしました。



写真・廣信県被爆者会会長(上) 栢管県被爆2・3世の会世話人(下) 左はパレードの様相(10/29 岡山市内)